

経営比較分析表（令和3年度決算）

神奈川県茅ヶ崎市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓ガ	救臨災地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
245,852	28,878	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

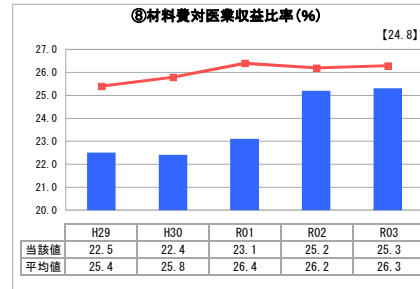
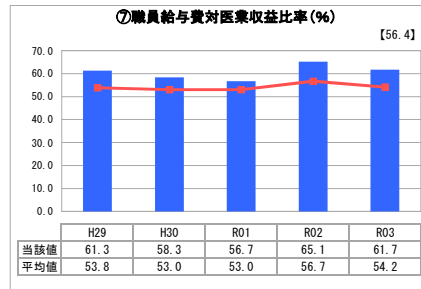
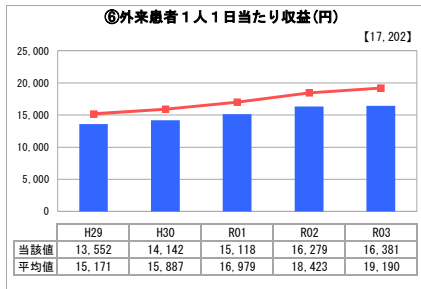
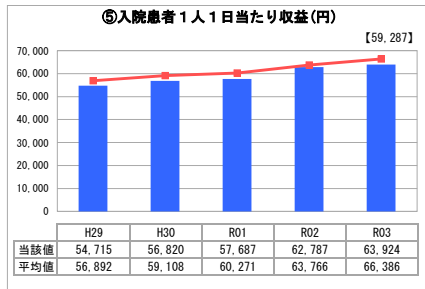
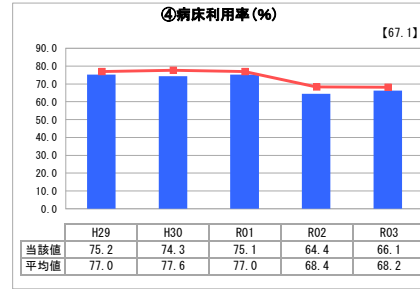
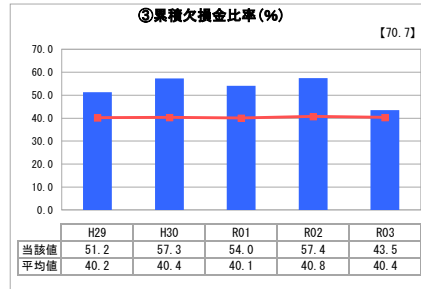
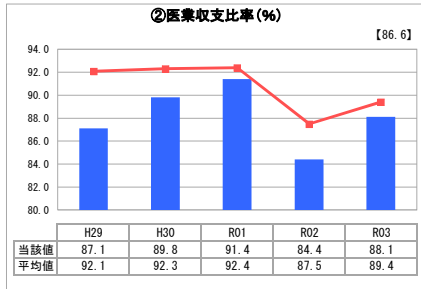
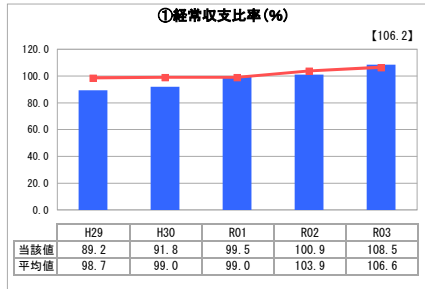
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
401	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	401
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
401	-	401

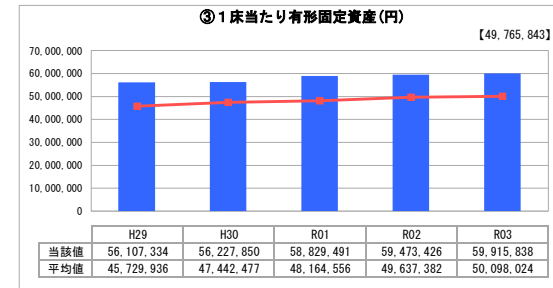
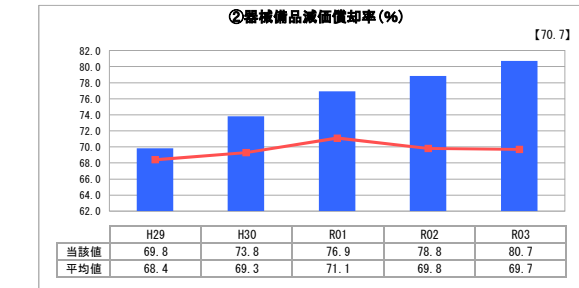
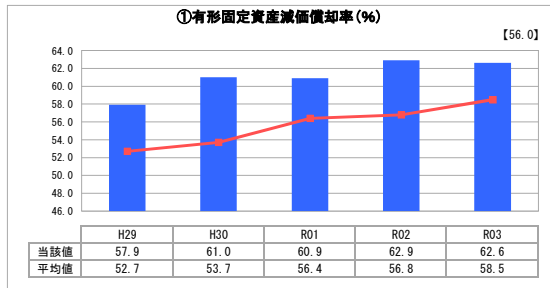
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療の役割を担う地域の急性期基幹病院として、がん治療、小児・周産期医療、救急医療等の高度で専門的な医療を提供するとともに、より重要な患者への対応に注力できるよう、地域の医療連携のネットワークを強化しています。

また、新基準での災害拠点病院、DMAT指定病院となり災害医療体制の強化に努め、神奈川県がん診療指定病院に指定される等、病院機能の充実を続けています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、前年度比7.6%[※]増の108.5%となっており、健全経営の水準とされる100%を上りました。一方、医療活動における経営状況を示す医療収支比率は依然として100%を下回っており、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う補助金等の医療外収益に依存した経営状況となっています。

また、病院施設の稼働状況を示す病床利用率は、前年度比1.7%[※]増の66.1%となっています。なお、入院外来収益率ともに上昇傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬の特例の影響もあることから、今後の動向に注視する必要があります。

引き続き、新型コロナウイルス感染症に的確に対応しつつ、経営の健全化に向けた取組を進めます。

2. 老朽化の状況について

当院の現在の建物は、平成12年に西側が、平成15年に東側がそれぞれ完成し、現在まで時代の要請に応えるために診療機能の充実及び、建物の改修を行ってきました。

平成31年度からは、病院機能の充実を図ることを目的とした別棟の建設工事及び本館の改修工事を順次実施しており、令和5年度中には全ての工事が終了する予定となっています。

なお、医療機器の更新については、耐用年数を過ぎた機器が多数あるものの、各機器の状況に応じて修繕及び更新を順次行っています。

全体総括

平成28年度以降、大幅な赤字決算が続いたことを受け、令和元年9月に「茅ヶ崎市立病院リハビリ・ロードマップ」を策定し、将来にわたり健全な経営環境のもと、地域の基幹病院として市民に安全で良質な医療が提供できるよう、経営形態の変更に関する検討も含め、経営の健全化に向けた取組を進めています。

一方、令和元年12月より世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の医療現場の見通しは非常に不透明な状況となっています。

こうした状況の中にあっても、医療を安定的かつ継続的に提供することができるよう、新型コロナウイルス感染症の状況に的確に対応し、引き続き経営の健全化に向けた取組を進めていきます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。